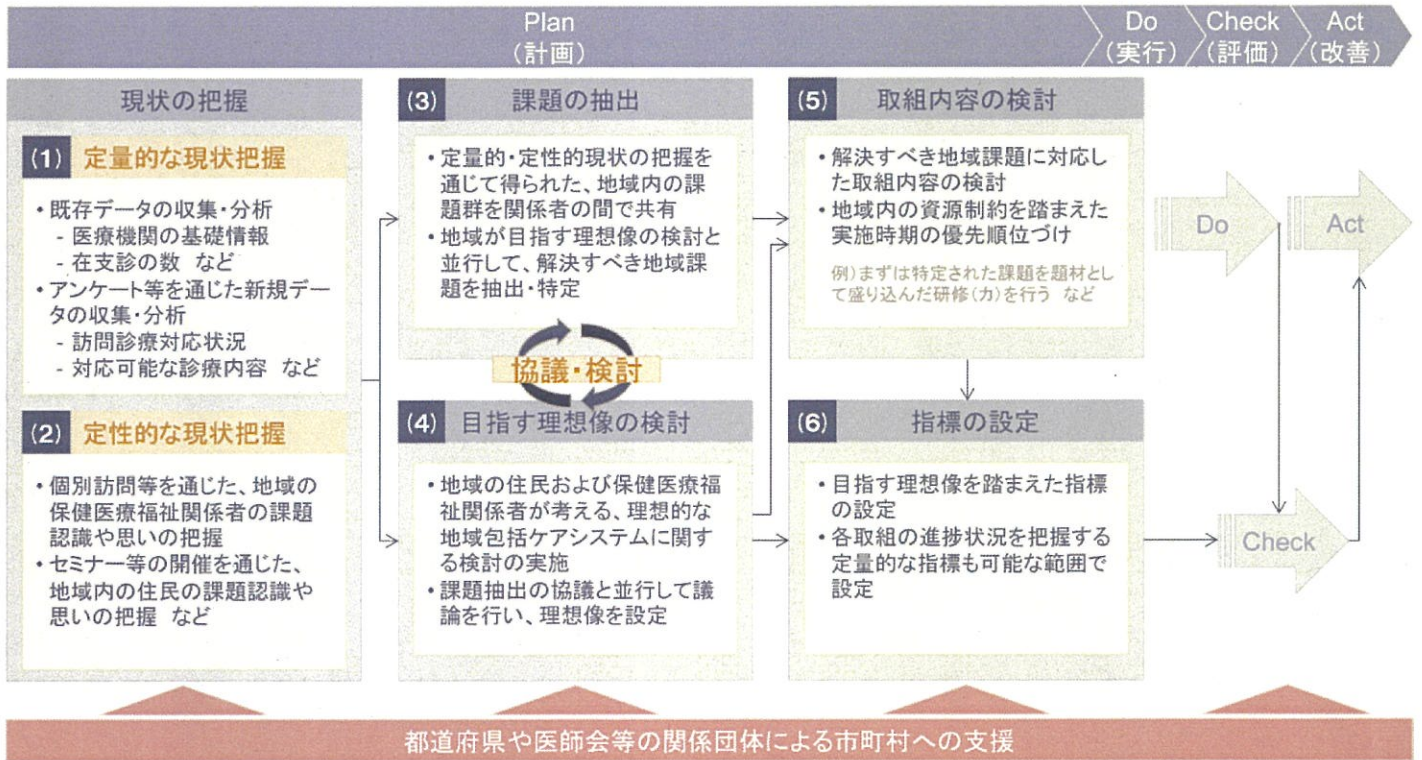


在宅医療・介護連携推進事業における PDCA サイクル



【計画 (Plan)】

- 本事業における計画【計画 (Plan)】は、下記の 6 つのプロセスが存在する。

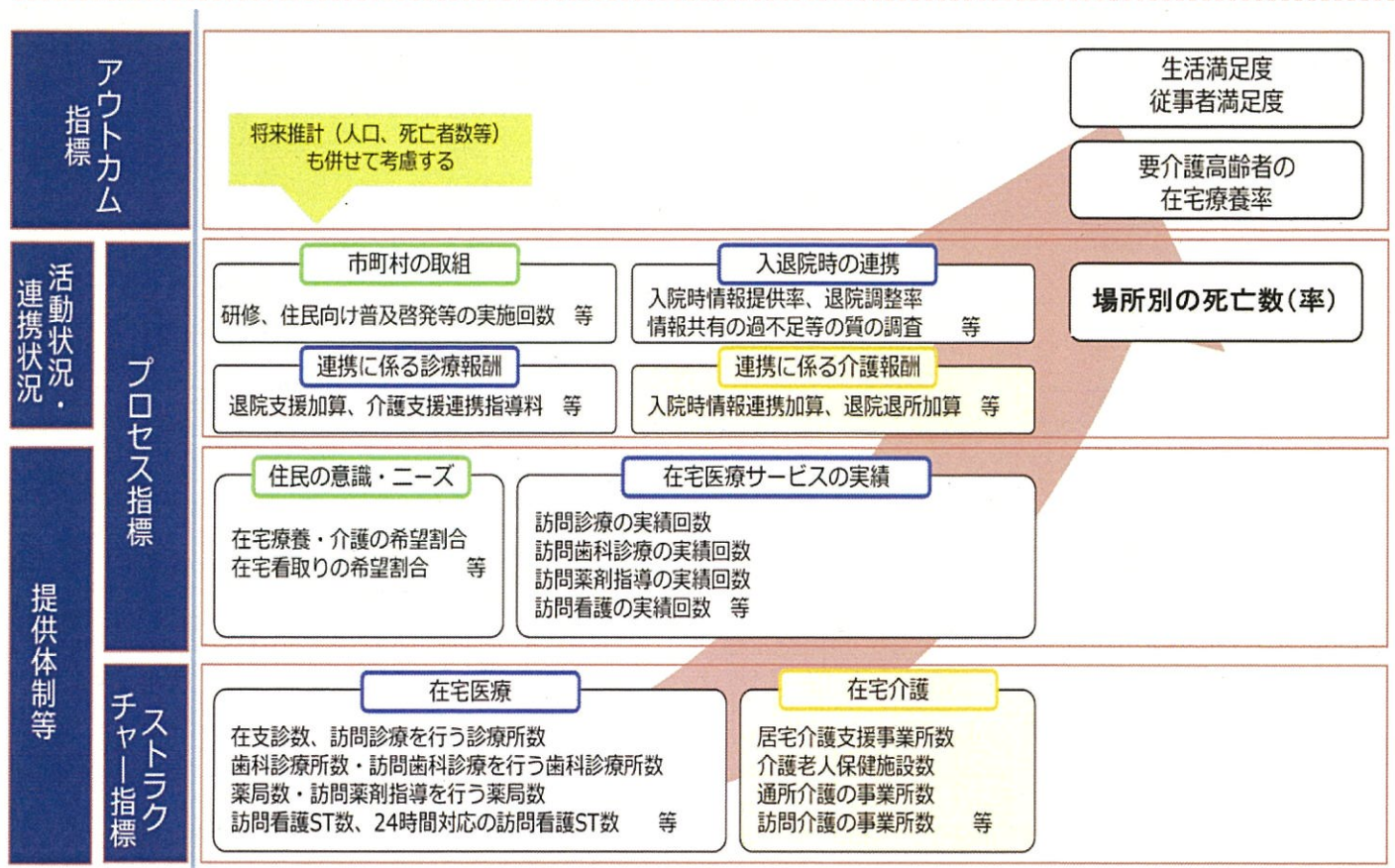
- ①現状の把握 (定量的な現状把握)
- ②現状の把握 (定性的な現状把握)
- ③課題の抽出
- ④目指す理想像の検討
- ⑤取組内容の検討
- ⑥指標の設定

④目指す理想像の検討

- 目指す理想像の検討については、③課題の抽出と同時に実施することになるので、「なぜ在宅医療と介護の連携に取り組む必要があるのか」という認識の共有を市区町村と地域の医療・介護関係者間で図るとともに、目標と課題に則した対応策の立案やその実効性を高めるために重要である。
- 目指す理想像は長期目標になることから、③課題の抽出で出された課題に対する短期目標も設定していく必要がある。

在宅医療介護連携推進事業における指標のイメージ

○地域の課題や取組に応じて、必要な評価指標を検討、選択することが重要。



⑥指標の設定

○ 設定する指標の目標

(1) 「地域の課題の分析や事業の進捗状況を確認するための目標」

【住民の意識・ニーズ】【在宅医療サービスの実績】【市町村の取組み】
【連携にかかる診療・介護報酬】【入退院時の連携】【場所別の死亡数】

(2) 「在宅医療・介護連携推進事業を進めた結果、どれだけ目標に迫ったかを示すための指標」

【生活満足度・従事者満足度】

- 住民の QOL の他、連携の推進が在宅医療と介護の連携を支える専門職の仕事や連携状況に関する充実度（従業者満足度）についても把握することで連携の質を支え手視点で評価する

【要介護高齢者の在宅療養率】

- 連携を構築した際に、【住民の意識・ニーズ】で把握される在宅療養の希望にどれだけ近づいているかを評価する。